

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、和合圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和5年5月29日（月）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：12人 事業所：7人 事務局：11人
場所	和合せいれいの里 研修センター
内容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 住吉・和合地区生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3 協議内容</p> <p>① 令和4年度協議体会議の振り返り 生活支援コーディネーターより、本年度の協議体で話し合ってきた内容について報告した。</p> <p>② 令和4年度地区社協家事支援の活動について 住吉・和合、富塚それぞれの地区社協家事支援の活動について昨年度にどのような依頼があったか、件数を含めて報告した。</p> <p>③ 富塚協働センターごみゼロフェスタについて 5月28日（日）に富塚協働センターのごみゼロフェスタに参加したことを報告。 ・本会議で「ゴミ出し支援」について議題で取り上げられていることから富塚協働センターより声がかかり参加することとなった。 ・高齢者がゴミ出しをすることの大変さを地域の人に理解してもらうことを目的とし、高齢者疑似体験セットを着用してもらいゴミ出し体験をしてもらった。 ・小中学生を中心に70～80名に体験してもらい、若い世代の理解につなげることができた。</p> <p>④ 高齢者の現状と今後について 浜松市中区長寿保険課より、今後の高齢者を取り巻く課題について説明。 ・75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加していき、2055年には、25%を超える見込み。 ・認知症高齢者が増加 ・各地域の高齢化の状況は異なるため、各地域の特性に応じた対応が必要である。 ・生産年齢人口が減少する一方、社会保障の必要となる人口が増えるために、保障に関わる費用負担が大きくなっていく。</p> <p>人口減少社会における超高齢社会に対応するため地域の課題・ニーズについての問題提起し、関係者間の情報交換、情報共有をする。収集した情報の見える化を行い、【何を】地域の助け合い・支え合い（互助）を 【どうする】推進する（広げる）</p>

	<p>を地域住民や関係者が一緒になって話し合い、行動を起こしていくことが望まれている。</p> <p>④ グループワーク 住吉・和合、富塚地区のそれぞれに分かれてグループワークを行い、今後の方向性について意見交換した。</p> <p>4 連絡事項</p> <p>5 閉会</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回は、協議体として協議する内容について課題を再認識・整理することを目的とし、今の高齢者の現状や課題についての説明を受け、地域ニーズの受け皿である地区社協家事支援が受けている依頼の現状を把握し、グループワークで方向性を話し合った。</p> <p>そこで、地域で何か取り組んでいく際には、それをやる根拠として「ニーズの把握」を求められることを再認識した。しかし、現状どうにかなっている課題でも、今後さらなる高齢化がすすみ介護保険制度の改正で近い将来にニーズに大きな変化が出る可能性もある。地域に住んでいる人たちの今のニーズと今後想定されるニーズを確認しながら地域課題に取り組む必要があると感じた。</p>